

明けましておめでとうございます。

今年も雪の中のお正月となりました。牡丹雪の中、日置神社にお参りし、運動を継続することへの意気込みを新たにしたところです。

昨年12月28日(日)高島市長外2名の市役所職員と話し合う機会を得ました。これは、市議会議員との協議会の最後に市長から動物保管業者の林代表との協定締結の言葉が発せられたことに伴い、当同盟との意見交換を行うために開催されたものです。

席上、市長は、今般、林代表から再三再四に亘り要請されていた面会要請に応じたこと、この話し合いの結果として、以前より市長が提案されてきた同盟と林氏との協定締結を、高島市の環境条例により、市が協定を結ぶための事前の協議を行いたいと説明されました。

同盟としては、以前より協定締結には否定的な意見を示してきましたが、席上では、昨今の林氏を取り巻く情勢について意見交換を行い、協定の締結はその内容よりも市から認可を得たものとして取り扱われるだけで住民としての利益を実現できるものとはならない、との意見を述べ、今は協定締結の時期でないとの結論となりました。

ところで、この市長が地元で説明された内容を林氏は、自身のホームページの中で、「……そして、私たちが位置する滋賀県、高島市。一年前には地元、と高島市においては反対派の妨害行為に逢いました。噂や憶測、恣意的な情報操作により市長も惑わされ反対活動に参加する事態となりました。しかし、年末に市長と面談し、話し合い、真摯な謝罪を受け誤解が解け、共に動物愛護活動の推進に理解を得ることが出来ました。本年は高島市、滋賀県共に官民一体となって活動を推進し全国初のモデルケースとなるべく活動を開始する運びとなります。……」と紹介してしまっています。これは、市長の好意的な対応を自分中心の行動計画を正当化するための材料に使ったとしか言えません。

私たちは、自己本位な言動を繰り返す林氏に真実を伝えるよう抗議すると共に、市長に対し、住民の思いを代表する者としての同盟との連帯を継続されるよう願うものです。